

■欧州：欧州議会環境委員会、自動車の排出基準強化を求める修正法案を採択

欧州議会の環境委員会は2018年9月10日、自動車のCO₂排出規制に関する規則案に対する独自の修正案を採択した（賛成38票、反対23票、棄権7票）。本規則案は、EU域内で販売される乗用車・小型商用車（新車）について、2020年以降におけるCO₂平均排出量の基準等を規定するもの。欧州委員会が2017年11月に同規則案を発表した際、当初案では、2025年におけるCO₂排出基準を現行の2021年目標に対して15%、2030年には同30%、それぞれ引き下げる提案を行っていた。これに対し、欧州議会の環境委員会は今回、当初案で示された排出基準をさらに強化し、2025年に20%、2030年に45%まで引き下げる内容で修正案を採択した。これを受けて、欧州電気事業者連盟は、排出基準の強化が運輸部門の電化に向けた重要な一步になるとし、今回の環境委員会の決定を歓迎している。同規則案は今後、2018年10月初旬に欧州議会の本会議における採決に付される見通しである。